

令和5年度事業計画

○基本方針

新型コロナウイルス感染症の拡大から3年余が経過しましたが、この間、関係業界は大きな打撃を受け、当連盟としても様々な事業が中止または内容変更に迫られました。この新型コロナウイルス感染症も去る3月13日にはマスクの着用が個人の判断に委ねられ、5月8日には感染症2類からインフルエンザと同様の5類へ移行されたところです。これを機に国内の観光客は大幅に増加し、コロナ禍前の状況に戻りつつある状況です。併せて入国規制も徐々に解除され、インバウンドの増加も感じられてきました。しかし、離島のハンデがある壱岐市の状況は、コロナ禍前の状況には程遠いのが現状です。

このような中、壱岐市においては令和4年度を壱岐市観光の『復興元年』と位置づけた「第4期壱岐市観光振興計画」に沿って、市民一体となって取り組むこととされています。連盟としましては、会員の皆様をしっかりとサポートし、市の計画に沿って積極的に取り組んでまいります。

誘客事業については、首都圏向け情報発信の強化に努めるとともに、コロナ禍により大きく落ち込んだ壱岐市の観光需要回復を目指し、プレミアム付き宿泊券の発行事業ならびに旅行会社向けのツアー造成支援事業を推進します。

また、各種スポーツイベントの実行委員会との連携を一層強化し、コロナ対策及び島内全域における周遊観光が促進される仕掛けづくりを行い、島内産業の活性化と交流人口の拡大を図ります。

教育旅行については、「壱岐教育旅行感染症対策ガイドライン」にそって、体験メニューの見直しを図り、壱岐らしいおもてなしの気持ちと将来の「壱岐ファン」を一人でも多く獲得することが重要と考えており積極的に取り組みます。

連盟運営にあたっては、業務の見直し等による組織体制強化を図るとともに、既存事業の収益力向上や補助制度等を活用し、財源の確保に努めるなど、安定した財政運営を目指します。また、多様化する観光ニーズにも的確に対応できる体制の充実とともに、職員のスキルアップに努めます。

重点目標

1. ウイズコロナ・アフターコロナに向けた観光需要の回復
2. 交通キャリアと連携した誘客促進と情報発信の強化
3. 有人国境離島法を活用した滞在型観光の促進
4. 「おもてなしの心」の醸成など観光従事者及びおもてなし市民力の向上
5. 収益事業等の推進による自主財源の確保
6. 会員の積極的な参加による組織の強化

事業概要

1. 壱岐島観光需要安定化対策事業

ウィズコロナ・アフターコロナに向けた観光需要の回復と安定化を実現するため、新しい生活様式を取り入れ、変化した旅行ニーズに対応した「新しい観光」の確立と、交通キャリアや旅行会社等をはじめ、近県地域との連携実績を基軸にした安全安心なしま旅のPRと誘客の仕掛けづくりを図る。

- (1) 新幹線西九州ルート対策事業
- (2) 隣接地域・近県からの誘致対策事業
- (3) 「新しい教育旅行」誘致拡大事業
- (4) 他地域・団体等と連携した観光プロモーション事業
 - ・ 島の宝観光連盟との広域連携
 - ・ 東京事務所との連携
 - ・ 近県地域での観光物産イベントへの参加
- (5) 営業(誘致)パンフレット製作

2. 首都圏向け情報発信強化事業

首都圏における壱岐市の認知度向上及びメディアの誘致促進により、壱岐ファンの獲得を図る。

- (1) 首都圏におけるメディア対策強化
 - ・ 歴史に特化したプレスツアー
 - ・ ファクトブック製作
- (2) 壱岐観光 WEB サイト「壱岐観光ナビ」対策
 - ・ ログ解析
 - ・ ライター育成

3. 壱岐市観光需要喚起対策事業

コロナ禍により大きく落ち込んだ壱岐市の観光需要回復を目指し、プレミアム付き宿泊券の発行事業ならびに旅行会社向けのツアー造成支援事業を実施する。

ツアー造成事業については、壱岐対馬周遊ツアーを対象とし、対馬市と連携を図り認知度の向上を目指す。

4. 情報発信の強化

地域おこし協力隊を情報発信担当として、ホームページの体験をはじめとした特集記事の強化、モデルコースの作成、トリップアドバイザーおよびgoogleの事業者登録の促進、フェイスブックやインスタグラムなどSNS等を活用しながら、情報発信事業の強化を図る。

5. 観光宣伝誘客促進事業

壱岐人会会報及び新聞への広告掲載やパンフレットを製作し、誘客促進を図る。

6. 観光案内所設置事業

- ・ 郷ノ浦港、芦辺港、印通寺港ターミナル運営事業(365日開所)
- ・ 行っ得クーポン券発行
- ・ 一支國国民証発行
- ・ 体験の受付、精算
- ・ レンタル自転車の貸出

7. 観光物産展の開催事業

物産ブランド部会を中心に観光物産展の開催 長崎市 夢彩都、チトセピア予定。

8. 教育旅行誘致事業

島内の修学旅行受入組織や主要な関係機関等と連携を図り、重点地区への誘致活動を行うとともに、入島時の横断幕での歓迎や離島時の紙テープお見送りなど、島ならではのおもてなしに協力する。

・ 全体23校 2,814人 来島予定

内訳)	県内	5校	580名
	関西	9校	1,449名
	関東	4校	340名
	中国	3校	245名
	九州	1校	200名
	東海	1校	未定

9. 壱岐夜神楽「文化遺産の舞」公演事業

ツアーを造成・販売する旅行会社に対して公演料の一部助成を行う。

10. 一支國国民証発行事業

- ・ 令和3年度新規発行(5年間有効)
- ・ 会員皆様にご協力いただき、割引特典等付与することにより、リピーター獲得を図る。

11. 海の家設置事業

- ・ 筒城浜海水浴場 2施設設置(2か月間)

12. 大型客船入港歓迎セレモニー事業

大型客船入港に際し、乗船客の歓迎セレモニーを実施する。

- ・ 入港予定 6回

13. 壱岐市内の各種イベント・スポーツ大会事業

交流人口の拡大を図るため、各イベントやスポーツ大会の広報宣伝や運営に協力する。

- (1) 壱岐サイクルフェスティバル
- (2) 壱岐大大神楽公演
- (3) 壱岐の島新春マラソン大会
- (4) 各種スポーツ大会

14. 会員広報活動事業

「連盟だより」の定期的な発行と会員へのイベント情報の提供

15. 青年部・女性部事業

- (1) 各種イベント、連盟事業への支援、協力
- (2) 観光地清掃活動、観光地点検の実施
- (3) 花いっぱい活動の展開

16. 自主事業運営

- (1) 旅行業事業
 - ・ 旅行商品、着地型体験メニューの販売
- (2) 壱岐ちやりレンタル事業